日本学術会議の活動と運営に関する記者会見のご報告

２０２０年１０月３０日
日本学術会議幹事会

２０２０年１０月２９日、日本学術会議の活動と運営に関する記者会見を行いました。記者会見冒頭の梶田隆章会長の挨拶にありますように、国民のみなさまに学術会議の活動を正確にお伝えするために行ったものです。

記者会見で配布いたしました資料は、日本学術会議のホームページに掲載しております。

＊日本学術会議の活動と運営について(記者会見要旨)
http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/pdf25/siryo302-kaikenyoshi.pdf
＊第２５期幹事会記者会見資料
http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/pdf25/siryo302-kaikenshiryo.pdf

---

記者会見冒頭の梶田隆章会長の挨拶

国民のみなさまへ

みなさまご承知のように、１０月１日から学術会議の第 25 期が始まり、私が会長に就任いたしました。しかし、今期の新会員として推薦した１０５名のうち、６名の任命が見送られ、９９名しか任命されておりません。

これは、学術会議にとって青天の霹靂ともいうべき事態で、第２５期の運営や活動に著しい制約となっております。会長として、菅総理に、任命を見送った理由を説明し、改めて６名の任命をするように要望しております。また過日、担当の井上大臣にも同じことを申し上げ、今後、未来志向の対話を政府と学術会議が行っていく上で、この任命問題が大きな妨げになることを危惧しているとお伝えしております。

他方、この間、学術会議についての様々なご意見や報道を見ておりまして、十分に私どもの活動が国民の皆様に伝わっていないのではないかと感じております。日本の科学者全体を代表し、日本の学術の振興を図るとともに対外的な連携の窓口となり、さらには政府への科学的助言等を行うなどの役割を果たそうと努めておりますが、私どもの活動についてしっかり伝わらないまま、様々な誤解に基づいたご意見も頂戴しています。

そこで、本日は、この記者会見の場をお借りして、国民のみなさまに学術会議の活動を正確にお伝えするようにしていきたいと考えております。